

Ⅲ 参考資料編

新しい介護予防事業

- 心身機能の維持回復だけでなく、地域の中に生きがい・役割をもって生活できるような居場所と出番づくりが重要
- 年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民運営の集いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や集いの場が継続的に拡大していくような取り組みを推進する。
- リハビリテーション専門職等を活かした自立支援に資する取り組みを推進し、介護予防を機能強化する。

改正前の介護予防事業

- 一次予防事業 (一般高齢者が対象)
 - ・介護予防普及啓発事業
 - ・地域介護予防活動支援事業
 - ・一次予防事業評価事業
- 二次予防事業 (生活機能の低下等がみられる高齢者)
 - ・二次予防事業対象者の把握事業
 - ・通所型介護予防事業
 - ・訪問型介護予防事業
 - ・二次予防事業評価事業

一次予防事業と二次予防事業を区別せずに、地域の実情に応じた効果的・効率的な介護予防の取組を推進する観点から見直す

介護予防を機能強化する観点から新事業を追加

〈改正後〉一般介護予防事業

- ・**介護予防把握事業**
支援を要する者を把握し、介護予防活動へつなげる。
- ・**介護予防普及啓発事業**
介護予防活動の普及・啓発を行う。
- ・**地域介護予防活動支援事業(充実)**
地域における住民主体の介護予防活動の育成・支援を行う。
- ・**一般介護予防事業評価事業**
一般介護予防事業の事業評価を行う。

- ・**(新)地域リハビリテーション活動支援事業(新規)**
地域における介護予防の取組を機能強化するため、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の集いの場等へのリハビリテーション専門職等の関与を促進する。

県の支援

集いの場づくりの設置が進むよう、NPOやボランティアを対象に、新規参入を促す養成研修を開催

- モデル市町村を選定して、新たな介護予防プログラムを普及
- ・住民が主体となって身近な場所で運営
- ・健康体操などに継続的に取り組み活動の場や社会参加の機会づくりにつなげる
- ・取り組み事例や成果を研修会等を通じて全市町村に普及

市町村が行う介護予防事業へのリハビリテーション専門職の幅広い活用の支援

- ・圏域ごとに市町村職員や理学療法士などの専門職で構成する連絡会議を定期的に開催
- ・効果的な活用手法などを紹介する事例集を作成

(一部抜粋)

地域支援事業実施要綱

(ウ) 地域介護予防活動支援事業

地域介護予防活動支援事業は、年齢や心身の状況等によって高齢者を分け隔てることなく、誰でも一緒に参加することのできる介護予防活動の地域展開を目指して、市町村が介護予防に資すると判断する住民主体の通いの場等の活動を地域の実情に応じて効果的かつ効率的に支援することを目的とする。

なお、介護予防に資する住民主体の通いの場は、週1回以上の開催を基本とし、開催箇所数は人口1万人に概ね10か所を目標として、地域の実情に応じて定めるものとする。

また、以上の取組に加え、概ね次のようなものも組み合わせて支援することが考えられる。

- ① 介護予防に関するボランティア等の人材を育成するための研修
- ② 介護予防に資する多様な地域活動組織の育成及び支援
- ③ 社会参加活動を通じた介護予防に資する地域活動の実施

例えば、要介護者等に対する介護予防に資する介護支援ボランティア活動を行った場合に、当該活動実績を評価した上で、ポイントを付与する活動等が考えられる。

(オ) 地域リハビリテーション活動支援事業

① 事業内容

事業内容としては、概ね次のものが考えられるが、市町村が地域における介護予防の取組を機能強化する効果があると判断した内容を地域の実情に応じて効果的かつ効率的に実施するよう努めるものとする。実施に際しては、リハビリテーションに関する専門的知見を有する者が、高齢者の有する能力を評価し改善の可能性を助言する等、地域包括支援センターと連携しながら、通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の通いの場等の介護予防の取組を総合的に支援する。

- (a) 住民への介護予防に関する技術的助言
- (b) 介護職員等（介護サービス事業所に従事する者を含む。）への介護予防に関する技術的助言
- (c) 地域ケア会議やサービス担当者会議におけるケアマネジメント支援

② 実施担当者

リハビリテーションの理念を踏まえて、「心身機能」「活動」「参加」のそれぞれの要素にバランス良くアプローチすることのできる能力を有する者が実施する。このような能力を有する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が想定されるが、職種を限定するものではない。

I 地域診断

(参考資料-3)

「I 地域診断」では必ずしも全ての項目を埋める必要性はありません。

1. と4. は戦略策定前に、2. と3. は年間を通して地域を見る視点としてご活用下さい。

1. 既存データの整理



「見える化」システム等を用いて、全国や都道府県との比較や、経年変化も見てみましょう。

1-1. 既存データの整理		割合 (%)	(時点)	(範囲※1)	見える化※2で把握できるデータ
①総人口	人		2015/4/1		○
②高齢者人口	人	#DIV/0! ②/①	2015/4/1		○
③後期高齢者人口	人	#DIV/0! ③/①	2015/4/1		○
④総世帯数	世帯		2015/4/1		○
⑤高齢者を含む世帯数	世帯	#DIV/0! ⑤/④	2015/4/1		○
⑥高齢独居世帯数	世帯	#DIV/0! ⑥/④	2015/4/1		○
⑦高齢夫婦世帯数	世帯	#DIV/0! ⑦/④	2015/4/1		○
⑧要介護認定者数(第1号被保険者)	人	#DIV/0! ⑧/②	2015/4/1		○
⑨第1号被保険者1人当たり保険給付月額	円		2015/4/1		△
⑩第6期第1号保険料基準月額	円		2015/4/1		
⑪地域包括支援センター	直営	箇所	2015/4/1		
	委託	箇所	2015/4/1		
⑫第6期末における地域包括支援センターの予定数	直営	箇所			
	委託	箇所			
〇〇〇					
〇〇〇					

※1：市町村全体の数値か、日常生活圏域の数値かなど、データの範囲について記入して下さい。

※2：地域包括ケア「見える化」システム (URL : <http://mieruka.mhlw.go.jp/>) については、2015年7月に各市町村の介護保険担当部局へID・パスワードを付与します。

見つからない場合は、ヘルプデスク (mieruka-sys@toshiba-sol.co.jp) に問い合わせして下さい。

1-2. 介護予防に資する住民運営の通いの場の展開状況※3

通いの場の箇所数	開催頻度	体操の実施						計	
		毎回実施		不定期に実施		未実施	把握していない		
開催頻度	週1回以上		箇所		箇所		箇所	0	箇所
	月2回以上4回未満		箇所		箇所		箇所	0	箇所
	月1回以上2回未満		箇所		箇所		箇所	0	箇所
	把握していない		箇所		箇所		箇所	0	箇所
	計	0	箇所	0	箇所	0	箇所	0	箇所

参加者実人数	男性		女性		計	
	65歳以上75歳未満	人	人	人	人	人
	75歳以上	人	人	人	人	人
計	0	人	0	人	0	人

※3：介護予防事業及び介護予防・日常生活支援総合事業実施状況調査(平成26年度実施分)の特別調査の内容です。

データを整理した結果、把握できた地域の特性について記入して下さい。

2. 地域資源の整理（人・組織）



日々の地区活動において住民の方と関わる時にこれらの視点を持って関わり、関係性を築きながら把握していきましょう。

協議体の中で議論された内容等も把握していきましょう。

2. 地域資源の整理 (視点の例)	
自治会の活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中でどのような活動を展開しているのか ・自治会の役員からみた困りごと ・役所内の自治会担当職員が考える課題 ・地域の裏事情をよく知っている人は誰か
社会福祉協議会の活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中でどのような活動を展開しているのか ・社協関係者からみた地域づくり関係の困りごと ・社協関係者の中の地域づくり関係のキーパーソンは誰か (市町村社協のみならず、学校区・町内会単位の社協も含む)
民生委員の活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中でどのような活動を展開しているのか ・民生委員からみた困りごと ・民生委員事務局担当者が考える課題 ・民生委員の中のキーパーソンは誰か
老人クラブの活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・活動参加状況（加入者数、加入率等） ・活動内容 ・老人クラブ役員からみた困りごと ・老人クラブ事務局担当者が考える課題
ボランティア（団体・個人）の活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・既存事業の中でどのようなボランティアを育成しているか ・育成したボランティアの活動状況
NPO等地域で活動している団体の活動状況	
社会教育（生涯学習や生涯スポーツ等）関係の活動状況	
その他	

地域資源（人・組織）を整理した結果について自由に記入して下さい。

3. 地域資源の整理（場所・移動手段）



高齢者が集える場所として、どのようなところが考え得るか。

3. 地域資源の整理（場所・移動手段） （視点の例）	
自治会館、公民館などの住民が利用できる建物の位置 （マンションのコミュニティルームや、空家、空き店舗、公園等）	
自治会館や 公民館の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・活用状況 ・空き状況 ・利用料金（冷暖房費含め） ・鍵の管理方法 ・利用条件
公的な老人施設の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況 ・行事や教室の開催内容 ・施設職員が考える課題
その他活用出来そうな施設の状況	
コミュニティバス等の移動手段の状況	

地域資源（場所・移動手段）を整理した結果について自由に記入して下さい。

4. 行政課題の整理



4. 行政課題の整理	
第6期介護保険事業計画において、介護予防や地域づくりに関してどのように記載しているか	
日常生活圏域ニーズ調査、高齢者向けアンケート等の結果	
介護保険事業計画以外の各自治体の計画の中で、介護予防や生活支援、地域づくりをどのように記載しているか	
これまでの介護予防や地域づくりの取組み状況、関連事業の実施状況	
介護予防の担当者として考える地域づくりの課題	
他部門（衛生部門等）の担当者が考える地域づくりの課題	
地域づくりに関する地域包括支援センターの活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中でどのような活動を展開しているか（通いの場、見守り体制等） ・住民からの相談内容、相談件数の推移 ・地域包括支援センター職員が考える課題
地域ケア会議等個別事例の検討の中から浮かび上がった地域の課題	
協議体の議論の中で浮かび上がった地域の課題	

行政課題を整理した結果、把握できた地域全体の課題・ニーズについて自由に記入して下さい。

II 戦略策定

「I 地域診断」で整理した情報を基に、住民運営の通いの場の立ち上げについて具体的な戦略を策定しましょう。

「II 戦略策定」は本事業の報告書に掲載予定です。都道府県研修・現地支援終了後サイボウズへの掲載をお願いします。

1. 戦略の全体像

Point まずは全体像を整理しましょう。




ビジョン1 ※長期的な視点で、どのような地域を目指すのか整理する。

- 地域住民のニーズに合っているか
- 地域の行政課題に合っているか

--	--

ビジョン2 ※ビジョン1を踏まえ、地域でどのように通いの場を充実していくか整理する。

- ビジョン1に向かっている内容か
- 第6期介護保険事業計画と整合がはかれているか
- 市町村全域で、高齢者が容易に通える範囲に通いの場を展開する事を見据えているか
- 前期高齢者のみならず、後期高齢者や閉じこもり等何らかの支援を要する者の参加を促す事を見据えているか
- 総合事業の移行を見据えているか

H27年度	
	
H28年度	
	
H29年度	
	
最終目標	

事業の概要 ※ビジョン1・2を踏まえ、今年度実施する内容について整理する。

- 本年度は何を重視するか
 - 具体的に何を行うのか（新規に行うことは何か、既存資源・事業の活用をするのか等）
- ※枠内におさまる程度にまとめ、詳細は「2. 住民のやりたい！を引き出すための戦略策定」に記載する。

--	--

2. 住民のやりたい！を引き出すための戦略策定



モデル事業で実施する具体的な内容を整理しましょう。

2-1. 住民のやりたい！を引き出すための戦略策定 (視点の例)		
行政内での意思統一を図る	<input type="checkbox"/> 行政内で誰を（課、職種等）巻き込むか <input type="checkbox"/> 協議体とどのように役割分担するか	
住民に対して伝える情報の整理	<input type="checkbox"/> 伝える情報は何か ・地域の現状 ・介護予防の必要性 ・住民主体の意義 ・定期的な活動のメリット <input type="checkbox"/> わかりやすく伝えるためにどのような工夫をするか	
普及啓発の計画	<input type="checkbox"/> いつ <input type="checkbox"/> 誰に、どのような場で <input type="checkbox"/> どのような方法で	
その他	/	

2-2. 支援体制（共通のルール）の整理 (視点の例)		
共通ルール・継続的なフォローの方法	<input type="checkbox"/> 行政として支援する内容は何か <input type="checkbox"/> 支援する側の共通ルールとして何を設定するか ・立ち上げ支援の回数 ・誰が支援するのか ・名簿管理 等	
事業評価の方法	<input type="checkbox"/> 評価方法 ・体力測定 等	
その他	/	

2-3. 通いの場充実計画 (視点の例)		
モデルとなる通いの場の位置づけ	↓ Yesの場合 <input type="checkbox"/> モデルとなる通いの場はどこにするか <input type="checkbox"/> モデルとなる通いの場で何を行うか <input type="checkbox"/> モデルとなる通いの場を今後の展開にどう活かすのか	<input type="checkbox"/> モデル事業を展開するのか
その他	/	